

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：平成30年1月23日 15時～16時

会場：きいちご倶楽部 第2リビング

出席者

（人数）

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	0人	高齢者あんしん 支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他（法人理事長、管理者、職員）			2人

（報告事項）

1. ご利用の状況

現利用登録者は14人であり、10月以降、ふたり他施設に移り、ふたり新規に利用開始となったこと報告した。

2. 11月～1月中旬の主な活動、行事

「きいちご便り」第9号に沿って、日頃の活動、ひかり保育園の行事への参加、などを報告した。

（協議事項）

1. 自己評価について

本事業所としては初めてであるが、小規模多機能について定められた方法によって行うこと。その中では委員の方の評価が必要であること。評価作成までの手順の説明、スケジュールなどについて協議した。

（要望、意見、助言等の要点）

・ 前回も意見があったが、小規模多機能を利用しようとする人とケアマネを変わらなければならないのは、それまで馴染みだったケアマネをかわらなければならない、抵抗がある。小規模を利用しようとする人にとってマイナスではないか。小規模多機能の利用を始めても、ケアマネが代わらなくともよいようにすべきではないか、との意見があった。

・ 在宅と施設でのケアマネの役割などについて質問があり、市、あんしん支援センターなどから回答があった。

・ きいちごから他施設に移られた方の事例について、もっと早くから家族の負担、ストレスを察知して、サービス量を増やすなどの対応をすべきだったのではないか、との意見があった。きいちごとしても同様の意見であると回答した。

（文責 山崎賢二）